

# 広報 加茂

## 第58回雪椿まつり開幕

加茂山公園池の端 4月6日

5月5日まで楽しいイベントが盛りだくさん♪  
詳しくは特設ページをチェック!



特設サイト

4  
NO.814  
2024

「広報かも」は令和6年5月から  
月1回発行になります



かも防災・行政ナビ

広報かもは毎月1回15日(休日の場合は翌開庁日)の発行に変更します。今後は加茂市ホームページやアプリ「かも防災・行政ナビ」などをおして、緊急性・即時性の高い情報の発信を強化していきます。



### ◆主な内容

- 令和6年度施政方針……………2(14)
- 令和6年度予算概要……………15(22)
- 令和5年度加茂市表彰式……………23
- ニューストピックス……………24(25)
- お知らせ……………26(30)
- 消費生活情報……………31
- 県立加茂病院コラム 加茂養生訓 1……………32
- 暮らしのカレンダー……………33

# 令和6年度施政方針

この先の「笑顔」を守るために



## 1 基本方針

私は市長就任後、行財政健全化推進計画、総合計画等を策定し、市の財政を立て直すこと及び将来のビジョンを定めることに注力いたしました。将来やるべきことが見えたところで、次のステージとして、将来に向けた持続可能な行財政運営を目指し、令和5年度から、これまで手付かずだった公共施設や機械設備の更新を中心に今後20年の財政シミュレーションを行いました。その結果、予算編成着手時点の最新の結果では、全てを実現した場合、今後20年間で累計収支不足が約120億円となり、年約6億5千万円の収支改善が必要となることが判明しました。

加茂市の財政調整基金残高は令和5年度末に12億8千万円を見込んでおり、これは平成13年度の水準を超えています。それでもなお、事業が集中する令和12年度には財政調整基金がマイナスになってしまうと推計されます。

この原因として挙げられるのが、県内ワースト4位のペースで加速する人口減少、不安定な国際情勢などを背景として続いている物価

高騰、大半が十分な維持補修がなされないまま更新期を迎えつつある公共施設の超老朽化の「三重苦」です。これらは一過性の課題ではないので、中長期にわたって今と同様の行政サービスを継続していくことは困難であると考えています。

この将来を回避するためには、将来事業の優先順位付け・取捨選択を行うとともに、既存事業の前列にとらわれない見直しが必要です。現時点の目標として、毎年5千万円程度の収支改善を継続し、令和5年度対比で令和6年度は5千万円、令和7年度は1億円と段階的に改善額を引き上げることで令和13年度以降には毎年4億円程度を将来事業へ投資できる状態を目指します。そのための基金として令和6年度から公共施設等整備基金を設け、まず5千万円の積立を行います。同時に、市民の皆さまに我慢をお願いする期間が少しでも短くなるよう、役割を終えた公共施設や市有地の売却による資金確保といった、これまでの枠組みにとられないあらゆる手段を検討・実施していきます。

様々な事業が見直され、困ってしまうと感じられる方の気持ちはとてもよくわかります。私たちもできることなら事業の削減はしたくありません。しかし、やらなければいけません。それは、やらなければ、水が飲めない、トイレの水が流せない、下水が処理できない、危険な道路や橋を直せないといったように、日常生活を送るうえで当たり前のことができなくなるからです。

本日、ここに、令和6年度予算案及び関連議案を提出し、ご審議いただくにあたり、市政運営に対する基本方針並びに主要事業についてご説明申し上げます。市民の皆さまと市民の代表たる加茂市議会議員の皆さまのご理解とご支援を賜りたいと存じます。

私には市民の生命と財産を守る責務があります。命あつての教育、福祉、文化・スポーツ活動です。それくらい厳しい状況だということをどうかご理解ください。今だけを考え、未来に投資しないという考え方は改めなければいけません。が、事業を見直していく中で、本当に市民が困らないよう、きめ細かに市民の声を聞いていきます。

この現実と向き合い、令和6年度予算案を編成するにあたり、既存の事業や制度の抜本的な見直しを行いました。無料または安すぎる公共サービスや減少した人口に対しての過剰な公共施設、役割を終えた補助金など、これらは聖域なく見直しを行い、未来のために今何をやるのか、「スクラップ・フォー・ビルド」の理念にもとづき取り組んでいきます。

そのための基本方針として三つの目標を掲げます。

一つ目は「持続可能な行財政運営を目指す」ことです。

人口減少や少子高齢化、地域のニーズの多様化など、加茂市を取り巻く環境は常に変化しています。そのような環境に合わせて、行政は変化していかなければなりません。また、行政だけでは解決できない課題について市民協働活動の活性化や地域コミュニティの強化を図りながら、「未来への責任」を担っているということ、を常に意識して取り組んでいきます。

二つ目は「基本的な生活環境を守る」ことです。

## 令和6年度施政方針

加茂市の財政が長期的に厳しい見通しであることの理由として、長い間計画的な維持管理が行われてこなかった水道や下水道、道路などのインフラ資産、清掃センターや消防庁舎・車輛の老朽化があります。これらは、市民生活に最低限必要な社会資本ですが、多くの施設が既に耐用年数を超えています。補助金や公共施設の開館日時を縮減してでも、基本的な生活環境は必ず維持していきます。

三つ目は「質の高い子育て・教育環境を整備する」ことです。

加茂市では、出生数の減少に伴い児童生徒数の減少が加速し、小中学校の小規模化が進んでいます。令和5年の加茂市における出生数は85人でした。それゆえ、少しでも早く、小中学校の適正な規模、適正な配置を進め、子どもたちが伸び伸びと学び、成長することができる基盤をつくる必要があります。その基盤として新しい校舎の建設を目指します。

そして何よりも大切なのは教育の内容です。自分を知ること、自分自身に誇りを持つ。郷土を知ること、郷土に誇りを持つ。そのような「加茂愛」を育む教育及び、多様性が認められ社会の中で個性に合わせて可能性を伸ばす教育環境を目指します。

これら三つの目標は令和6年度だけではなく、今後の加茂市の行財政運営の方針の根幹をなすものと考えています。

## 2 当初予算の概要

それでは、令和6年度当初予算案の概要についてご説明申し上げます。

令和6年度一般会計予算の総額は、119億8700万円、前年度に比較して3億200万円、2・5%の減となりました。

主要な財政指標については、実質公債費比率は9・4%で0・2%の減、将来負担比率は85・5%で5・1%の減、市債残高は令和5年度決算見込みと比較して4億円減少し、94億円と見込んでいます。

財政調整基金の残高は、令和5年度末が12億8千万円、令和6年度末も同額を見込んでいますが、職員退職手当基金と公共施設等整備基金を新設し、それぞれ7千万円と5千万円を積み立てます。これは、今後の退職金負担を平準化するとともに、公共施設の大規模な更新需要を見越し、計画的な積み立てを行うものです。

これらの指標を注視し、健全な財政運営を行ってまいります。

一般会計と、4つの特別会計の合計額は、185億515万円で、前年度に比較し1億5661万円、0・8%の減となりました。

### 3 具体的施策

次に、令和6年度の主な施策を申し上げます。

#### 基本目標1 子育て・教育

未来を担う子どもたちが夢と希望にあふれ育つまち

#### 1 子育て支援

令和6年4月より、こども未来課に「こども家庭センター」を設置します。これまでの「子育て世代包括支援センター」と「こども家庭総合支援拠点」の機能を維持したうえで一体的に行うため、これらを統括する職員を1名増員し相談支援体制を強化します。

また、令和6年度中に、こども家庭センター専用の相談室を設置し、気兼ねなく安心して相談できるよう努めます。

これにより、母子保健を行う保健師と、子どもやその家庭に関する全般的な相談を行う家庭児童相談員の連携・協働を深め、虐待の予防や障がい児・医療的ケア児等に対するサポートなど、個々の家庭に応じた切れ目のない支援を強化します。今後も、妊娠・出産から育児をしていく過程において、子どもが健やかに育ち、またその家族が安心して育児できるよう、現在行っているサービスや助成を継続していきます。

子育て拠点交流施設整備構想として、母子健康センター、保健センター、子育て支援センター、集会所等の機能を備えた複合施設の建設に向けた検討を進めます。令和6年度中に基本計画を策定し、令和9年度初旬のオープンを目指します。

子育て支援センター乳幼児あそびの広場において、会員登録された保護者の相互援助活動による、急な預かりや送迎、家事支援などを行う「ファミリー・サポート・センター」を設置し、令和6年3月から事業を開始しました。仕事や家事、育児などで多忙な保護者の負担軽減のため、子育て世代のニーズに対応できる体制づくりに努めます。

将来の加茂市の子ども・子育て、教育、保育に必要とされる支援の計画として、令和7年度から始まる「第3期加茂市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。令和5年度の調査結果にもとづき「加茂市こども未来会議」において、行政以外の有識者からの幅広い意見を伺い、地域の子どもや子育て家庭の実情に応じた支援施策が展開できるよう審議します。

公立保育園については、この計画を通して、少子化の状況や保育ニーズ量、私立保育園との関係性を考慮し、適正な施設数の検討、維持運営を図っていきます。

市内の公立及び私立保育園、私立認定こども

園、私立幼稚園の年中児、年長児を対象にフッ化物洗口を開始します。年中児頃に永久歯が萌出する大事な時期にフッ化物洗口を実施することにより、歯質の強化を行い小児期からのむし歯予防対策を推進します。

ムンプス（おたふく）の予防接種を、接種対象年齢となる1歳児から年長児までを対象として、1回の接種につき2千円を新たに助成します。ムンプスは、り患すると無菌性髄膜炎や脳炎などの合併症を起こす場合があります。予防接種費用を助成することにより躊躇することなく予防接種を受けていただくことがねらいです。

#### 2 結婚・妊娠・出産

妊娠期から子育て期の女性をターゲットとした、運動を通して健康づくりを行う「妊娠婦等への健幸サポート事業」を令和6年度から通年で筑波大学と協働で実施します。妊娠期から子育て期で忙しい女性でも、自宅で気軽に参加できるオンライン教室と、子育て支援センター乳幼児あそびの広場で実施する対面教室を併用して利用することができま



さらに教室終了後に保健師、助産師による健

康相談及び交流会の場を設けることにより、産後うつや育児不安等のリスクを軽減し、子ども・子育て家庭の健康と子育てに寛容な地域社会を構築していきます。

### 3 学校教育

令和5年9月に「加茂市立小中学校適正化方針の骨子」を策定し、「加茂市立小中学校適正化方針」について令和6年3月からパブリックコメントを募集しています。また、令和6年3月17日から令和6年4月19日まで市内7か所で「加茂市立小中学校適正化方針」案についての説明会を開催し、ご意見を伺いながら「加茂市立小中学校適正化方針」を策定します。策定後は「仮称 加茂市立小中学校統合準備室」を設置し、質の高い教育を受けることができる環境の整備を推進していきます。

令和4年度、子どもに関する教育相談にきめ細かく対応するため、相談・支援体制を強化し、教育支援センター「やすらぎ」を開設しました。令和5年度の相談件数及び利用者は、前年度比で約2倍に増加しました。令和6年度も引き続き、公認心理師2名を含めた5名のスタッフで、「やすらぎ」での支援、学校巡回、家庭訪問など、子どもや保護者のサポートに当たります。

今後も、同センター機能の更なる充実に努め、不登校や困り感を抱える児童生徒のサポー

トに加え、小学校就学前から入学、進学、卒業後のフォローまで、切れ目のない支援を継続していきます。

教育DXの推進については、令和5年度に統合型校務支援システムを市内全小中学校に整備しました。システムの円滑な実装及びICTを活用した授業改善をサポートするため、地域活性化起業者制度を活用し、ICT活用アドバイザーを新たに起用します。現任の指導主事を含めて二人体制で学校を巡回し、様々なニーズに応じた支援を行います。

部活動地域移行については、令和5年10月より土日の活動を段階的に地域の活動に移行しています。このことにより、複数校での合同練習や合同チームでの大会出場を実現させます。令和6年度は「普及年度」と位置付け、競技数と活動日数を拡充し、地域移行を更に推進します。

放課後児童クラブは、利用者のニーズに比べ、令和5年度から対象児童を4年生まで引き上げました。今後も、対象児童や利用時間の拡充及び支援体制の強化等、利用者が利用しやすい児童クラブ実現のため、新たな制度づくりを含め運営改善に努めます。

#### 基本目標2 健康・福祉

ともに支えあい、だれもが安心して健やかに暮らせるまち

#### 1 健康・医療

令和6年度も引き続き、民間、大学等の関係機関と連携した「健康増進プロジェクト」を展開します。具体的には、ウォーキングを中心とした健康増進事業や介護予防のための講演会等を行い、幅広い世代の健康増進や生活習慣病予防、健康寿命の延伸を推進します。

また、これらの各種健康事業に参加した方や、特定健診、がん検診を受診した方に健康ポイントを付与することで、市民の健康増進を図



ります。

健康増進プロジェクトに加え、健康増進事業、介護予防等の事業を実施するにあたり、専門的知見をもとに加茂市の現状・分析等を行うため、地域活性化起業人制度を活用した医療専門人材を起用します。

## 2 障がい者・障がい児福祉

障がい者・障がい児施策においては、当事者やご家族の声を聴く相談支援が最も重要と考えており、民間事業者と連携した相談支援事業の実施を基礎に、更なる充実を図っていきます。

また「加茂市自立支援協議会」において、障がい福祉施策等の評価や改善策の検討を継続的に行います。

障がい児の支援では、従来の施策に加え、令和5年度に発足した自立支援協議会「こども支援部会」の取組に期待し、市としても協力していきます。部会は子育て支援機関や小・中学校の通級指導教室、教育支援センターなどの教育機関、障がい児通所支援事業所、障がい児相談支援事業所などの多職種の関係者が参画しています。支援を必要とする子どもにより良い発達支援のために、子どもを中心とした、家庭・教育・福祉のトライアングルの連携を強化し、ライフステージに沿った切れ目のない支援体制の構築を目指します。

新たな施策として、ご自宅や施設での入浴が

困難な児童を含めた重度の肢体不自由の人を対象とした「訪問入浴サービス事業」及び、主に就労を目指して事業所に通う人を対象とした、通所交通費の一部を助成する「訓練・就労系事業所等通所交通費助成事業」を開始します。

さらに、障がいのある人もない人も、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する地域の実現を目指し、障害者差別解消法に関連した基本条例を制定します。その動きとあわせ、障がいのある人や障がいについての理解を深める取組を推進します。

## 3 高齢者福祉

誰もが住み慣れたまちで安心して生活できるよう、引き続き、加茂・田上地域の医療・介護関係者が連携し、在宅医療と介護が一体的に提供できる体制を維持します。

高齢者や障がい者の介護施策については、民間事業所の新規参入を促進し、また、保健・医療・福祉の連携の拠点として、地域包括支援センターを現在の1か所から2か所に増設いたします。これにより高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケアシステムの構築に向けた基盤整備を進めます。増設する地域包括支援センターは、創意工夫を活かし、包括的支援事業の効率的な運営を図ることができ民間事業所に委託します。今後は、更なる機能の充実を図り、地域包括支援センターを中心に、住まい・医療・

介護・予防・生活支援を一体的に提供し、フレイル対策から看取りまで切れ目のないサポートを行います。

また、認知症に関する知識の普及啓発や相談体制の充実を図り、引き続き認知症のひと家族を支援します。

加茂市の高齢化率は年々高くなっており、将来的には超高齢化の進行に伴い、認知症の高齢者の増加が見込まれます。このような状況の中、認知症の人が尊厳を保ちながら幸せに暮らしていただける地域を実現するため、基本条例を令和6年度中に制定します。条例が制定されれば、認知症に関する条例では、県内初めての制定となります。

長年にわたり地域社会の進展に寄与した高齢者の長寿をお祝いするとともに、高齢者の孤立防止と地域コミュニティ形成を促進するため、市内各地域で実施する敬老事業に対して、88歳以上の参加者一人につき1,500円を補助します。

介護保険料については、3年ごとに見直す制度になっています。現状の介護サービス利用状況と今後の伸び率を踏まえて推計した結果、令和6年度から65歳以上である第1号保険者の基準月額を6,050円から6,160円に改定し、更なるサービス提供体制の充実を図ります。

### 基本目標3 生活・環境、生活基盤

安全・安心で環境にやさしいまち

#### 1 防災・減災

スマートフォン・専用タブレット用アプリ「かも防災・行政ナビ」とメールやLINEなどのSNSによる「防災・市民情報配信サービス」により防災情報や行政情報をリアルタイムでお届けします。



総合防災訓練の様子

市民の防災意識の啓発と地域防災力の向上のため、引き続き「かも防災出前講座」を実施するとともに、自主防災組織が行う活動や資機材整備に係る費用を補助します。

また、令和6年度から新たに地域の防災リーダー育成のため、防災士養成講座を開催します。

令和6年9月29日に風水害を想定した市民参加型の総合防災訓練を実施し、市民の防災意識の啓発と災害時における防災活動の円滑化を図ります。

#### 2 消防・救急

消防本部車両の老朽化が進んでいるため、加茂市負担分は、過疎対策事業債を活用し救助工作車1台を更新します。消防団車両についても、緊急防災・減災事業債を活用し、小型動力ポンプ付積載車3台を更新します。

また、消防団設備整備補助金を活用し、災害対応に必要な雨具、救命胴衣等個人装備の配備を進めます。

消防本部庁舎については、昭和54年の建築から44年が経過し老朽化が著しいため、2か年計画で大規模改修を行います。令和6年度は外壁・屋根の修繕及び水害時の消防機能維持のため、非常用電源の屋上設置等を行います。

#### 3 防犯・交通安全

市民の安全・安心な消費生活を確保するため、引き続き消費生活相談窓口を開設するとともに、新潟県消費生活センターと連携し、相談体制を維持します。また、契約トラブルや多重債務に関する弁護士相談会の開催、消費者被害の未然防止のための啓発活動などに引き続き取り組めます。

#### 4 生活環境

老朽化が進んでいる加茂市・田上町清掃センターについて、加茂市・田上町消防衛生保育組合では、令和3年度に、ごみ処理施設整備基本構想を策定し、ごみ処理施設の新設に向け、建設候補地の選定作業を進めて来ました。しかしながら、昨今の社会情勢等の変化により、ごみ処理施設建設を巡る環境が大きく変化しました。特に大きな変化があったのが建設工事費の高騰問題です。この問題を無視して、新設計画を進めた場合、加茂市、田上町それぞれが、今後進めようとしている施策に影響が生じます。さらに両自治体の財政状況の悪化、財政調整基金の枯渇など行財政運営に著しい悪影響を及ぼす恐れがあります。

そこで進めていた候補地選定作業を一旦停止し、ごみ処理の適正な方法について見極めたく、加茂市、田上町の必要としている施策や、財政状況を考慮しながら、あるべき姿を再考することとしました。現在、作業を進めています

が、最終的な結論については、令和6年8月末までにお示ししたいと考えています。

新たな方針が確定しても、当面の間は、現清掃センターを修繕し、稼働し続けなければなりません。焼却炉への負荷を低減させるためにも、ごみの減量化・再資源化に積極的に取り組みます。

令和5年4月より開始した「中身の見えるごみ袋でのごみ出し」の実施は分別意識の向上のみならず、ごみの回収量が2割以上減少するなど、減量化にも一定の効果を得ることができました。また、ペットボトルや古紙の回収量も増加しています。

令和5年度から実施の古紙類のステーション回収は、回収量の増加に伴い、4月より2か月に1回から毎月1回の収集とし、回収した古紙類は資源としてリサイクルします。

株式会社メルカリとの連携によるリユース推進事業を引き続き実施します。また、フリーマーケット「カモフリマ」を引き続き開催し、循環型社会の実現に向けた意識の醸成を図ります。

環境政策については、2050年までに、二酸化炭素排出量を実質ゼロ



カモフリマの様子

にする「加茂市ゼロカーボンシティ宣言」の実現に向け、令和5年度に策定に取り組んだ「加茂市環境基本計画」や「地球温暖化対策実行計画」に掲げる目標について、より多くの皆さまにご理解いただけるよう、啓発・周知活動を展開します。

## 5 住環境

空き家・空き地に関する施策の方針を定めるため、令和4年度に実施した市内空家実態調査を基礎資料として「空家等対策計画」を策定するほか、計画の作成や変更、実施について協議するための協議会を設置します。

地域外の人材を積極的に誘致し、地域力の維持・強化を図る取組である地域おこし協力隊は、令和5年度末までに3名の方を委嘱しています。地域協力活動に従事してもらいながら、加茂市への定住・定着を図ります。今後、地域おこし協力隊を増やし、地域の問題解決・活性化に取り組みます。

移住促進については、加茂市移住定住ポータルサイトを中心に、加茂市の魅力や支援制度などの情報発信に努めます。また、移住希望者のご希望に沿った暮らしができるよう、移住コンシェルジュによるオーダーメイド型移住体験ツアーを実施するなど、親切丁寧にサポートし、より一層の相談体制の充実を図ります。

東京圏からの移住者に対して補助金を支給す



る移住・就業支援事業を引き続き行います。また、東京圏だけではなく、市外から加茂市への子育て世代の移住・定住を支援する移住促進住宅取得補助金の交付も継続して行います。

屋根の雪下ろし作業を安全に行うための「命綱固定アンカー」を設置する費用の一部を補助する制度を創設し、1件当たり補助上限額10万円を補助します。

公園施設については、加茂市公園施設長寿命

化計画にもとづき加茂山公園の弁天橋等の改築工事を行います。

## 6 道路・公共交通

道路整備については、安全・安心な道路交通を確保するため、東芝横線、菅端諏訪ノ木線、大皆川線、九軒小路線、黒水丸山線、元狭口線の道路改良工事、下条矢立境線の歩道改良工事、飯山線は崩落した路肩の改修をそれぞれ行います。福島線は今年度も引き続き遺跡本調査を行い、令和7年度からの工事着手を目指します。

また、舗装の傷みが激しく修繕の緊急性の高い下条矢立境線の舗装打替え工事を行います。

橋梁の長寿命化については、橋梁長寿命化修繕計画にもとづき、老朽化対策として沢田橋、三場橋の再塗装を行います。また、令和4年度から令和5年度で実施した2巡目の定期点検にもとづき、市内27橋の橋梁長寿命化修繕計画を改定します。加茂市の橋梁については、健全度判定4段階のうち、修繕の必要な健全度Ⅲ・Ⅳの区分に271橋のうち80橋、割合にして30%が該当し、全国平均の8%、県平均の20%を大きく超えており、将来に向けて計画的な修繕が必要な状態です。

消雪施設は、新道線、穀町小橋線、学校町都ヶ丘線の老朽化した消雪用井戸を更新し、また穀町小橋線の消雪パイプの布設替えを行います。

「かもんバス」「かもんタクシー」については、今後も利便性が高く持続可能な公共交通とするため、地域公共交通計画にもとづき、公共交通を取り巻く現状や課題を整理し、関係機関の横断的な連携、取組を効果的に進めます。主に、健康事業との連携や、公共交通の世界標準のデータフォーマットであるGTFSS化などを実施していきます。GTFSS化することで、経路検索サービスなど分かりやすい情報提供が可能になります。

かもんタクシーの予約については、AIデマンド交通機能を導入することで効率的な運行を実現し、利用者の利便性向上を図ります。

## 7 水道水の供給

水道事業については、給水人口、使用水量等の減少による給水収益の減少や、施設の老朽化による維持費、更新費用などの増加により経営状況は厳しくなっています。水道事業を改善するため、料金改定や経費削減について引き続き検討し、収支均衡のとれた安定的な事業経営に努めるほか、水道料金の未収金回収についても収納率向上に努めます。

より一層の有収率向上を図るため、管路の漏水調査を継続し、漏水箇所との修繕と、栄町・八幡二丁目・第2区・下興屋向・五反田地内で漏水の恐れのある老朽管の布設替えを行います。

## 8 汚水処理の推進

下水道事業については、経営状況の明確化を図るため、令和6年4月から公営企業会計を適用し、経営基盤の強化と施設の適正な管理を図ります。

見直しを行った集合汚水処理の公共下水道事業及び個別汚水処理の合併処理浄化槽設置事業により、汚水処理の効率化を図ります。

長期的な視点で下水道施設及び管路の維持管理や改築を計画的・効率的に行うためのストックマネジメント計画をもとに、持続可能な下水道事業の実現を目指します。

**基本目標4 芸術・文化、スポーツ、自治・人権**  
学び、集い、ふれあって、自分らしく活動できるまち

### 1 生涯学習

図書館では、「加茂市子ども読書活動推進計画」の理念を踏まえ、ブックトークや絵本の読み聞かせ会、バックヤードツアーをはじめとする子どもを対象とした事業やイベントの開催、小中学校や保育園のニーズに応じた図書を提供を進めます。また、市内高等学校司書との連絡会議を設け、高校生世代の読書離れに歯止めをかけるための取組を検討するなど、より一層学

校や各機関との連携を図りながら、引き続き図書館の魅力の発信と利用の拡大に努めます。

公民館では「市民大学講座」や、勤労青少年ホームから移管の「教養講座」などの各種事業及び各分館事業を実施し、幅広い世代と地域に学びの場を提供します。

令和6年度に開館50周年を迎える民俗資料館では、これまで集積してきた資料や情報を活かし、従来の常設展示に加え、地域活性化に資する魅力ある切り口の特集展示を開催します。また、来館者を待つだけでなく、市内の施設へ出向いて歴史・民俗・文化財を広く学べる市民向けの講座や講演会を実施し、きめ細かく学び、楽しめる事業を展開します。

## 2 芸術文化・文化財

加茂文化会館については、市民音楽祭、舞踊まつりなど継続した事業のほか、指定管理者による民間の活力を活かしたイベントの企画運営、情報発信を行います。加茂市における文化芸術の拠点として更なるサービスの向上を図ります。



文化財保護事業については、指定文化財をはじめ市内各所にある資料の適切な保存に努めながら、民俗資料館や加茂文化会館内の良寛展示室で展示を行い、文化財の活用を進めていきます。

紙漉き技術保存振興事業は、新潟県伝統工芸品に認定された加茂紙の一層の浸透と普及を目指します。冬鳥越スキーガーデンで取り組んでいる楮やトロアオイといった原料の栽培に力を入れ、安定的な生産に結び付けていきます。栽培と生産を通して、市内の紙漉き業のルーツである七谷の地域振興や活性化を図ります。

## 3 スポーツ

スポーツ振興については、子どもから高齢者まで健康と運動を結び付け、誰もが参加して楽しむことができるユニースポーツ体験会を実施します。

また、スポーツ関係団体や民間事業者等と連携しながら、子どもたちのスキルアップ講習会やスポーツ指導者の育成事業などを開催し、競技力の向上にも力を入れていきます。



## 4 市民協働・地域コミュニティ

快適なまちづくりのため、市民と行政が協働でまちの美化、環境整備活動を推進する環境美化プログラム「かも美化サポーター」は、令和4年4月の募集開始から徐々に認知度を高め、現在14団体が市内各地での活動を実施しています。引き続き周知活動に努め、参加団体を募集していきます。

また、市民や団体の自発的な活動を支援し、市役所各部署との調整を担う窓口を明確にするため、市民協働係を立ち上げます。これにより、市民協働の円滑化を図ります。

## 5 人権・多文化共生

国際交流については、子どもたちが多様な交流を体験できるように、国内での英語体験学習を実施するとともに、ニュージーランドとの交流を引き続き検討します。

男女共同参画の推進については、令和5年3月に策定した「加茂市男女共同参画推進計画」の理念を踏まえ、市民向けの意識啓発セミナーの実施や広報での積極的な周知活動、女性のための総合相談窓口の開設を引続き行っていきます。

また、男女共同参画推進条例の制定とパートナーシップ制度の導入について検討を進めます。

人権啓発については、令和5年度に人権教育・啓発推進計画策定委員会を立ち上げ、人権

に関する市民意識調査を実施しました。この結果をもとに「人権教育・啓発推進計画」の令和6年度策定を目指します。

**基本目標5 都市の魅力創造、産業・雇用**  
人が集い、賑わいと活力があふれ、稼ぐ力と雇用を生み出すまち

### 1 魅力あるまちづくり

加茂市に住む、関わる全ての人々が主役となつて、主体的に活躍できるまちを目指します。

中心市街地とその周辺を含むまちなかエリアの賑わいづくりに向けては、産官学金が連携して活動するためのエリアプラットフォームにより、実現すべき具体的なまちの姿を示す未来ビジョンを策定し、まちなかエリアはもちろん、加茂市全体の魅力や価値の向上に、引き続き取り組んでいきます。

令和6年度から加茂市観光協会を民間へ移行し、加茂市の魅力やイベント情報等の発信を強化します。加茂市を訪れる方への満足度を上げるとともに、観光客へ向けた新しいアプローチをすることで加茂市の認知度向上を図ります。これからの加茂市観光協会は、観光プロモーションをはじめ、加茂市の観光資源の保護と発信を推進することで加茂市への観光客増と加茂市民が愛着を持てるまちづくりに寄与します。



雪椿まつりについては、青海神社や池の端でのライトアップに加えて、春山ハイキング、お茶席など、昼も夜も楽しめるイベントを企画しています。今年は「加茂市のもつ資源を活かし市民一体となって郷土愛を育む祭り」を目的と

して、多くの方から楽しんでいただける祭りを開催します。

また、加茂川を泳ぐ鯉のぼりなど、魅力あるイベントへの支援を引き続き行います。こうしたイベントを通じて、加茂市を訪れた方が、加茂市のファンになり、再び訪れたくなるような取組を進めます。

### 「加茂七谷温泉美人の湯」で

は、企業版ふるさと納税制度を活用し、敷地内にバーベキューを楽しめるデイキャンプスペースや露天風呂にサウナを昨年オープンしました。引き続き指定管理者と連携し、同施設並びに周辺地域の魅力の向上、発信に取り組みます。



美人の湯 露天風呂にサウナを設置

「加茂市総合計画」にもとづき、これからのまちづくりの理念や都市計画の目標、全体構想、地域別構想を定める「加茂市都市計画マスタープラン」の策定作業を引き続き実施し、令和6年度末に策定します。

## 2 商工業の振興

物価高騰などにより経済活動が停滞しないよう、中小企業者に対する金融支援や販路開拓支援をはじめ、加茂商工会議所や市内事業協同組合等が行う取組に対し、市としてできる限りの支援を行います。

また企業の継業のため、市内事業者の人手不足や後継者不足といった課題に対しても取り組みます。

創業、成長企業への支援の充実を更に加速させるため、創業者が登録免許税軽減、日本政策金融公庫の融資制度での優遇等、更なる支援を受けられることができるよう、産業競争力強化法に基づく「創業支援等事業計画」を令和5年度に策定し、国の認定を受けました。この計画の特定創業支援等事業である「創業塾」を加茂商工会議所と連携し実施します。受講者を創業支援対象者として、加茂市や加茂商工会議所のほか、地域金融機関や日本政策金融公庫など連携団体と共にバックアップする体制を強化し、市内での創業者数の増加を図ります。

市内事業者の地域特産品をふるさと加茂応援寄附金、いわゆるふるさと納税の返礼品として採用することで、全国への販路開拓を図ります。

また、令和5年度のふるさと納税額は、令和6年2月現在、過去最高額の約6億円を超えました。今後も市内事業者との連携を密にし、株

式会社新潟三越伊勢丹との連携を強化することにより、地域特産品の磨き上げや新たな価値の創出、地域資源の活用を通じて、ふるさと納税をきっかけとした地域産業の振興を目指します。

さらに、事業者や各種団体との連携を通じた返礼品の開発や体験型の商品など、選ばれる魅力的な品揃えに力を入れて取り組みます。

## 3 中心市街地の活性化

中心市街地の活性化を目的に、「空き店舗対策事業」を継続して実施します。商店街等の協力を得て空き店舗の状況を把握し、新規出店者に対して店舗の改修費用や家賃を補助することで、空き店舗の解消に努めます。

加茂駅周辺の賑わいの創出と高校生や大学生、買い物客など駅周辺にいられた方の居場所として、ショッピングパークメリア3階に設置した「KAMOMACHINAKA BASE（かもまちなかベース）」を指定管理者による運営とし、民間のノウハウを活用しながら引き続き開設します。

## 4 農林水産業の振興

J A えちご中越、農業委員会等の関係機関と連携し、地域の未来図である「地域計画」を令和6年度末までに策定するため、各地区での協議に取り組んでいます。これを核に、農地中間

管理事業を活用して農業の担い手への農地集積・集約化を促進し、農業の生産性向上を図ります。また、農地集積・集約化を進める上では、担い手同士の連携も必要なことから、担い手の組織作りにも取り組みます。加茂市の農業の中核を担う認定農業者や農業法人、生産組織に交流・情報交換の場を提供し、セミナー等を通じて、農業経営や生産技術等の自己研鑽に取り組み農業者を支援していきます。

J A えちご中越等と連携して首都圏などでPR活動を行い、加茂市産の農産物の更なる付加価値の向上と、販路拡大を後方支援します。

鳥獣被害防止対策交付金を活用し、電気柵設置補助を行う「加茂市鳥獣被害防止対策協議会」へ運営費を補助します。

また、サル、イノシシによる農作物被害が増大しているため、加茂市単独事業として個人でも設置できる電気柵設置補助制度を新設し、被害防止への取組を支援します。

クマ、イノシシ、ニホンジカなど有害鳥獣の捕獲については、有害鳥獣捕獲員遠隔監視システムを有効活用し、作業の省力化や安全対策の向上に努めます。

令和5年度の高温・渇水のように、農業には様々なリスクがあります。そこで経営継続に向けた支援対策として、収入保険加入者の保険料を一部補助し、収入の減少に自ら備える農業者

を支援します。支援の内容は、収入保険料のうち、積立金部分を除いて5分の1、上限2万円を、令和6年分から令和8年分までの3か年で2回まで補助します。

林道施設の長寿命化を図るため、「加茂市林道施設長寿命化計画」にもとづき、引き続き林道麻布谷黒水線の住岡橋の修繕を行います。

## 基本目標6 行政活動

社会の変化に対応し、市民に寄り添い、未来への責任を担うまち

### 1 財政運営

未来への責任を果たすためには、人口規模や利用状況に見合った公共施設の適切な配置・運営を行い、長きに渡って持続可能な財務構造への転換を早急に実現しなければなりません。

そのため、令和5年度から公共施設再編アクションプランの策定に着手し、定量的かつ客観的なデータの分析を進めています。令和6年度末の計画策定に向けて、データの分析結果と長期財政シミュレーションの状況を踏まえ、各施設の新設、統合、廃止、転用、譲渡や売却などの実施方針と実施時期の検討を行います。

同時に、施設の開館日や開館時間、使用料及び一部機能など、アクションプランの策定に先駆けて見直し可能な部分については、財政負担を抑制するためにも、できるものから順次実施していきます。

税収入の確保については、引き続き新潟県地方税徴収機構に参加し、県と他市町村と共同で税の滞納整理を行います。この機構での案件以外でも、インターネット公売を利用するなど、滞納処分を随時実施し、滞納額の縮減、税収入の確保に努めます。

### 2 行政運営

令和3年度に総務課内に設置した政策推進室を政策推進課として独立させ、全庁的な重点事業や複数部署にわたる事業のマネジメントの迅速化と円滑化を推進します。また、政策推進課には市民協働の窓口となる市民協働係を立ち上げます。

総合計画の策定から3年が経過することから、基本計画前期の中間検証を行い、基本計画後期の策定の準備を行います。

市民の利便性向上と行政サービスの効率化を実現する、行政のDXを推進します。

デジタル社会のパスポートとも称されるマイナンバーカードの加茂市における保有率は、令和6年1月末で75.5%となり、多くの方が保有している状況となりました。また、コンビニエンスストアでの住民票、印鑑登録証明書、所得証明書、課税証明書の取得や、自宅のパソコンやスマートフォンからの転出届が可能となるなど、活用範囲も広がりました。令和6年度も引き続き、申請が困難な方を中心に、マイナ



ンバーカード作成のサポートを行うとともに、活用範囲を広げます。

市議会については、議会配信システムを更新します。市民に開かれた地方議会に向け、これまで配信されていた録画映像を鮮明な映像で配信します。

D X化による利便性向上と業務の効率化を図るため、地域活性化起業人制度を活用したデジタル専門人材を起用し、長期的なD X化のビジョン作成や、その実現、I C T化施策の改善を図ります。

市長定例記者会見は、令和4年4月から手話による同時通訳を行っています。会見の様子はY o u T u b e の加茂市公式チャンネルでも動画配信し、配信時は各種S N Sにてご案内するなど情報公開を積極的に行います。

また、広報紙やホームページへの有料広告掲載をP Rし、税外収入の一層の確保に努めます。

## 4 結び

以上、令和6年度の市政運営の基本方針並びに主要事業について、ご説明いたしました。

加茂市は、豊かな自然と人々の生活が調和している美しいまちです。その中に加茂市立図書館

館があります。そして、その前身である加茂町立図書館は県内最古の公立図書館です。

その図書館の設立に貢献されたのは旧狭口村ご出身で東京市会議員や日本図書館協会会長を歴任された坪谷善四郎氏です。坪谷氏は、ご自身の青年時代の苦学の経験から故郷の図書館建設のため、多くの図書や金品をご寄附されました。

加茂市名誉市民第1号の西村大串氏は、青年たちが働きながら学べるように、加茂暁星高等学校の前身である加茂朝学校を大昌寺内に創設されました。その後、西村氏は日夜募金活動をされ、独立校舎も建設されました。そこへは当時の国、県の官僚が続々と視察に訪れ、昼間働き、早朝と夜に勉学に励む生徒たちを称賛されたそうです。

加茂市にはこのお二人に代表されるように古くから若者の教育に情熱を持ち、行動されている方々がいらっしやいました。

この精神は今の加茂市民にも受け継がれていると思います。

子育て世代にとって安心して子どもを産み、育てたいと思えるまちであること。未来を担う子どもたちにとって、ここに生まれ育ってよかったと思えるまちであること。子ども、若者のことを考え、行動を起こせる大人がいること。これが、このまちの未来を支える希望につながると信じています。



加茂市は今、大転換期を迎えています。しばらく耐え忍ぶときが続きますが、「笑顔あふれるまち加茂」の実現に向けて職員とともに全霊で取り組むことをお約束いたします。

結びに、市民の皆さま、並びに市議会議員の皆さまにおかれましては、引き続き加茂市政にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

加茂市は、令和6年度の施政方針といたします。



【加茂市 令和6年度】

# “この先の「笑顔」をまもる” 予算概要

笑顔あふれるまち  
加茂



## 加茂市の財政を取り巻く環境



人口減少、物価高騰、施設の超老朽化という三重苦。  
中長期にわたり今と同様の行政サービスの継続は難しく、令和6  
年度から将来に向けた計画的な見直しに着手する必要があります。

人口減少

人口減少率県内ワースト4位  
このままでは2050年には13,027人に

物価高騰

2020年比で物価は6.8%高騰  
今後も上昇傾向が見込まれる

施設の  
超老朽化

76%が築後30年を経過  
このまま維持すると40年で858億円

この先の「笑顔」をまもるために



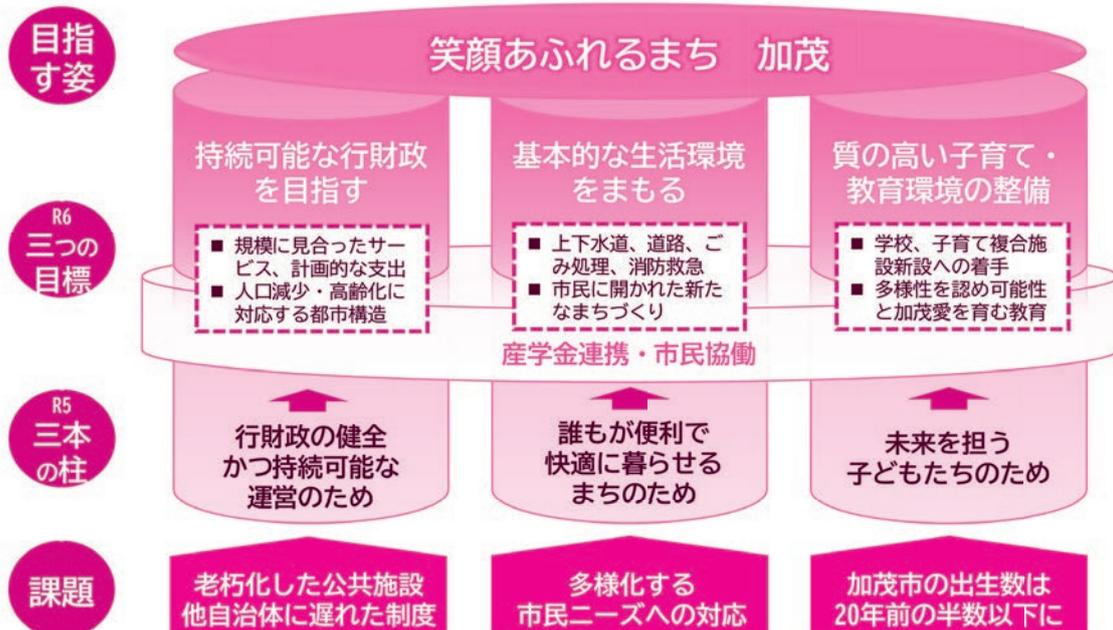
住民生活に不可欠な行政サービスは維持しつつ、効果がない・役割を終えた事業を聖域なく見直し、安心して住み続けられる、子どもを生み・育てたいと思える環境整備へ投資します。



令和6年度 予算編成方針



令和5年度の三本の柱を踏まえ、令和6年度は「持続可能な行財政を目指す」「基本的な生活環境をまもる」「質の高い子育て・教育環境を整備する」の三つの目標を基本方針とします。



## 令和6年度 当初予算概況



当初予算 **総額は185億515万円**(前年度\*比△1億5,661万円、△0.8%)。  
 実質公債費比率は9.4%、将来負担比率は85.5%で5.1%の減。  
 財政調整基金は横ばい、職員退職手当基金と公共施設等整備基金を新設し  
 それぞれ7,000万円と5,000万円を積み立て。

\*下水道事業の公営企業会計移行に伴い、令和5年度当初予算総額から下水道事業特別会計18億5,214億円を差し引き比較

### 【当初予算総額】

(単位：百万円)

区分	令和6年度	令和5年度	増減額	前年度比
一般会計	11,987	12,289	△302	△2.5%
特別会計*	6,518	6,373	145	2.3%
当初予算総額	18,505	18,662	△157	△0.8%

### 【財政構造】

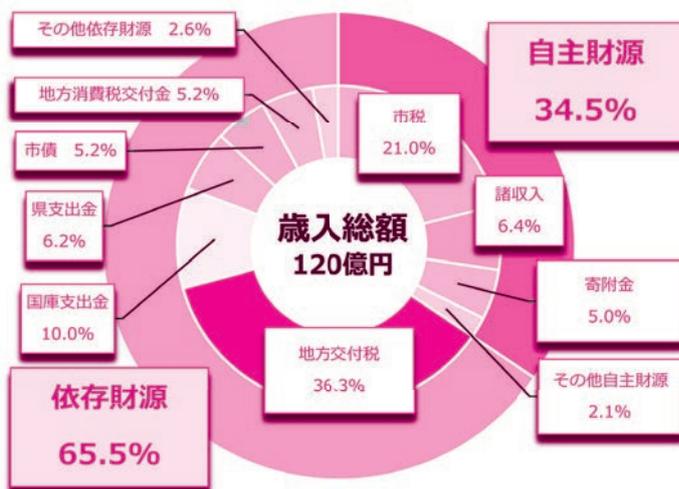
区分	令和6年度	令和5年度	前年度比	類似団体
実質公債費比率	9.4%	9.6%	△0.2%	10.1%
将来負担比率	85.5%	90.6%	△5.1%	62.2%
市債残高	94億円	98億円	△4億円	227億円
うち加茂市負担分	31億円	32億円	△1億円	
財政調整基金残高	12.8億円	12.8億円	0.0億円	35億円
職員退職手当基金残高	0.7億円	-	皆増	-
公共施設等整備基金残高	0.5億円	-	皆増	-

## 令和6年度 一般会計予算概要

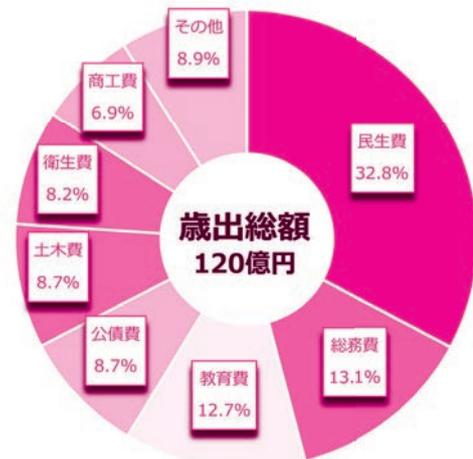


**一般会計は119億8,700万円**(前年度比△3億200万円、△2.5%)。  
 主な減要因は、個別事業の見直し分を除くと下水道事業会計繰出金(土木費)  
 と耐震補強事業費(教育費)。増要因は、消防衛生保育組合負担金(消防費)と  
 新設基金への積立金(総務費)。

### 【歳入の構成比】



### 【歳出の構成比】



## 分野1. 子育て・教育



### POINT

子どもと家庭の「にこやかな暮らし」をまもる

- 多様化するニーズに対応した切れ目のない細やかなサポートの充実
- 保護者負担の軽減によるココロとカラダの健康づくりへの伴走支援
- 充実したソフトをさらに輝かせるハードの実現に向けた構想の具体化

#### 子育て支援

<b>新規</b>	子ども家庭センターの新設による支援体制の強化・充実	367万円
<b>新規</b>	幼児期でのムンプス(おたふく)の予防接種費用を助成	44万円
<b>新規</b>	小児期からのフッ化物洗口で虫歯を予防し元気な歯に	76万円
<b>継続</b>	育児不安の解消に向け子育て世帯に寄り添ったサポート	2,924万円
<b>継続</b>	より良い子育て環境整備に向けて新施設建設計画を策定	100万円
<b>見直し</b>	チャイルドシート設置が広く普及したため補助金を廃止	△ 54万円

## 分野1. 子育て・教育



### POINT

子どもと家庭の「にこやかな暮らし」をまもる

- 多様化するニーズに対応した切れ目のない細やかなサポートの充実
- 保護者負担の軽減によるココロとカラダの健康づくりへの伴走支援
- 充実したソフトをさらに輝かせるハードの実現に向けた構想の具体化

#### 結婚・妊娠・出産

<b>拡充</b>	運動を通じた健康づくりとコミュニティづくりを推進するため、妊産婦等への健幸サポート事業を通年に拡大	531万円
<b>継続</b>	年齢や回数に制限なく不妊・不育症治療を全力サポート	360万円

#### 学校教育

<b>拡充</b>	対象児童や利用時間の拡充、支援体制の強化や運営改善等、利用者のニーズに応じた放課後児童クラブの実現	4,677万円
<b>継続</b>	不登校や悩みを抱える子ども・保護者への支援体制充実	1,305万円
<b>見直し</b>	奨学資金の新規貸付に対し県と同等の所得要件を新設	△ 1,734万円

## 分野2. 健康・福祉



POINT

ともに支えあう「健やかな暮らし」をまもる

- 健康増進活動の推進による健康寿命の延伸と医療費削減の両立
- 心身に困難さを抱える人もその家族も誰一人取り残さない環境づくり
- 民間事業者や関係機関との連携・協働による持続可能な社会の実現

### 健康・医療・高齢者福祉（介護保険特別会計含む）

	<b>拡充</b> ↑ 専門的知見を持った民間人材の活用による、健康増進と介護予防の一体的かつ効果的な事業実施体制の構築	779 万円
特会	<b>新規</b> 2つ目の地域包括支援センターを市街地に増設し、民間事業者の運営による効率的で充実したサポートを提供	1,700 万円
障がい者・障がい児福祉		
	<b>新規</b> 訓練・就労系事業所への交通費を助成し社会参加を支援	172 万円
	<b>新規</b> 在宅の重度肢体不自由者への訪問入浴サービス料を助成	169 万円

## 分野3. 生活・環境、生活基盤



POINT

今ある資源を活かし「暮らしの基盤」をまもる

- 今ある市民生活を支えるために必要不可欠なインフラ機能を堅持
- 目の前の課題だけでなく将来を見据えたアクションを選択・実行
- ITやAIなどのデジタル技術を利用性やサービス水準の向上に活用

### 防災・減災

<b>新規</b>	防災士養成講座を開催し地域の防災リーダーを育成	124 万円
-----------	-------------------------	--------

### 消防・救急（加茂市負担分）

<b>新規</b>	老朽化した救助工作車を更新し消防活動の体制を強化	1億280 万円
<b>新規</b>	2か年計画で消防庁舎の大規模改修を実施し機能を改善	3,033 万円

### 生活環境

<b>拡充</b> ↑	古紙類ステーション回収を毎月実施しリサイクルを促進	389 万円
-------------	---------------------------	--------

## 分野3. 生活・環境、生活基盤



### POINT

今ある資源を活かし「暮らしの基盤」をまもる

- 今ある市民生活を支えるために必要不可欠なインフラ機能を堅持
- 目の前の課題だけでなく将来を見据えたアクションを選択・実行
- ITやAIなどのデジタル技術を利用性やサービス水準の向上に活用

#### 住環境

<b>新規</b>	命綱固定アンカー設置を補助し屋根雪下し時の安全確保	100 万円
-----------	---------------------------	--------

#### 道路・公共交通

<b>新規</b>	橋梁の点検結果に基づき長寿命化修繕計画を全面改定	450 万円
<b>新規</b>	長寿命化修繕計画に基づき橋梁の老朽化対策を実施	5,775 万円
<b>拡充</b>	着手済みの道路の改良整備を計画的かつ着実に推進	8,213 万円
<b>拡充</b>	緊急性の高い舗装の打替えを実施し道路の安全を確保	6,160 万円
<b>拡充</b>	老朽化した消雪施設を更新し冬期間の円滑な交通を確保	1億662 万円

## 分野4. 芸術・文化、スポーツ、自治・人権



### POINT

地域がつながり「豊かな暮らし」をまもる

- 事業の集約化によりひと・もの・ことの新たな交流機会を創出
- 市民や団体の自発的な活動の活性化と連携・協働の円滑化を推進
- 民間活力の導入によるサービスや魅力の向上を推進

#### 芸術文化・文化財

<b>新規</b>	事業継続リスクが最も高い文化会館の高置水槽を更新	1,550 万円
<b>拡充</b>	通史編の下巻を刊行し加茂市史編さん事業が完結	1,151 万円

#### 市民協働・地域コミュニティ

<b>新規</b>	市民の「したい！」を支援するワンストップ窓口を創設	—
-----------	---------------------------	---



分野5. 都市の魅力創造、産業・雇用



POINT

稼ぐ力を生み出す「暮らしの価値」をまもる

- 産官学金の連携を強化し地域経済活性化に向けた目標や目的を共有
- 起業・創業・事業承継など事業者のチャレンジを多角的にサポート
- 担い手の負担を軽減し生産性向上に取り組むための環境づくりを支援

魅力あるまちづくり

拡充 ↑	加茂の魅力や認知度向上を目的に観光協会を民間へ移行	680 万円
継続 →	市全体と地域ごとの今後のあるべき姿・将来目標を策定	1,246 万円
継続 →	産官学金の連携・協働でまちなかエリアビジョンを策定	1,973 万円

商工業の振興

拡充 ↑	設備投資費用等を補助し創業へのチャレンジを後押し	200 万円
拡充 ↑	マッチングサイトを活用した事業承継機会を拡大	150 万円
見直し ↓	各種団体やイベントへの補助金を全面的に見直し	△ 787 万円

分野5. 都市の魅力創造、産業・雇用



POINT

稼ぐ力を生み出す「暮らしの価値」をまもる

- 産官学金の連携を強化し地域経済活性化に向けた目標や目的を共有
- 起業・創業・事業承継など事業者のチャレンジを多角的にサポート
- 担い手の負担を軽減し生産性向上に取り組むための環境づくりを支援

中心市街地の活性化

拡充 ↑	空き店舗の解消に向けて商店街への出店費用をサポート	200 万円
拡充 ↑	民間活力の導入により駅周辺での居場所と賑わいを創出	1,395 万円

農林水産業の振興

新規	農作物被害の拡大防止のため電気柵設置補助制度を新設	100 万円
新規	リスクに備える農業者支援のため収入保険料を一部負担	100 万円
見直し ↓	農機具補助の対象を見直しつつ条件付で補助率を嵩上げ	△ 869 万円



POINT

未来への責任のもと「暮らしの根幹」をまもる

- 時代や社会の変化に対応できる柔軟で持続可能な行財政構造への転換
- 市民と地域と行政が支えあいながら課題解決に取り組む環境の構築
- デジタル技術の活用で利便性の向上と行政サービスの効率化を実現

財政運営

継続	人口・財政規模に応じた施設再編のロードマップを策定	929 万円
見直し	利用状況を踏まえた公共施設の効率的な運営改善	△ 4,431 万円

行政運営

新規	議会配信システムを更新し鮮明な映像で開かれた議会へ	93 万円
新規	民間のデジタル専門人材を市長部局と教育委員会に配置	1,220 万円
拡充	進捗管理システムを導入し総合計画(後期)の策定に着手	181 万円



加茂市役所

新入職員を紹介します



令和6年度の加茂市役所新採用職員をご紹介します。

写真左から、平野黎（社会教育課）、権平翔太（税務課）、小柳優太（上下水道課）、宇佐美佳苗（健康福祉課）、坂井光葉（こども未来課）、小泉潤哉（健康福祉課）、大泉健介（総務課）です。

市民の皆さまのために、日々成長していけるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



受賞者の皆様  
おめでとうございます



令和5年度

# 加茂市表彰式

令和5年度の加茂市長表彰を受賞された方々をお知らせします。  
表彰式は3月28日（木）、産業センターホールで開催されました。  
いずれも各分野での功労・功績をたたえられての受賞です。（敬称略）

種別	功労区分	氏名	功績事項
普通表彰 (15名)	業務精励	山本 隆	箆笥職人
		坂中 洋子	図書館協議会委員 15年以上
	教育文化 功労	横尾 二二秋	図書館協議会委員 15年以上
		村木 薫	公民館運営審議会委員 15年以上
		帆苅 忠	公民館運営審議会委員 15年以上
	保健衛生 功労	坪谷 美雪	献血50回以上
		梶澤 ミネ子	献血50回以上
	社会福祉 功労	梶澤 ミネ子	生活支援員 15年以上
		消防功労	関根 十九司
	番場 文雄		消防団員 30年以上
	増井 和彦		消防団員 30年以上
	諸橋 利彦		消防団員 30年以上
	捧 和紀		消防団員 30年以上
	市行政 功労	有本 富一	松坂町区長 10年以上
		安中 利男	小乙区長 10年以上
小柳 隆		上条区長 10年以上	
特別表彰 (6名)	体育功労	篠原 新	第42回全日本クラブ卓球選手権大会 男子小中学生の部 優勝
	保健衛生 功労	渡邊 省市	献血150回以上
		川崎 育子	献血150回以上
		馬場 賢一	献血200回以上
		渡邊 敏行	献血200回以上
		関根 拓也	献血450回以上

## 令和5年度教育委員会表彰

教育文化の発展に寄与された方を教育委員会が表彰しました。（敬称略）

【文化功労】 中澤 恵子 第77回県展（彫刻）奨励賞を受賞し、市の教育文化の発展に寄与。

# NEWS TOPICS

## 七谷地区の農業の未来を考える座談会+(プラス) (3/13)

13日(水)午後7時から、加茂七谷温泉美人の湯で「七谷地区の農業の未来を考える座談会+(プラス)」を開催しました。これは、七谷地区における農業の将来の在り方を考えて農地利用計画を立てる地域計画策定の協議の場になります。今回は特別講演をプラスした座談会でした。

「株式会社ういるこ」の藤原さんから「有害鳥獣による農作物被害の防止対策」というテーマで、イノシシの生態などについてご紹介いただきました。



## 加茂市立小中学校適正化方針(案)説明懇談会(3/17)



17日(日)午後2時から、加茂文化会館で「加茂市立小中学校適正化方針(案)説明懇談会」が行われました。説明懇談会及びパブリックコメントでいただいたご意見、ご要望をふまえ、5月末までに正式な適正化方針を策定し、6月には統合準備室(仮称)を設置し、質の高い教育を受けることができる環境の整備を推進していきます。

パブリックコメント募集中！  
こちらからご意見をお寄せ  
ください。→ → →



あなたの街の  VIPシティホール

大切なご家族の最期のお見送りを  
真心こめてお手伝いさせていただきます。

家族葬から一般葬、大型葬まで  
24時間365日、葬祭ディレクターが対応いたします。



VIPシティホール 西加茂  
加茂市栄町2-11  
☎0256-52-4999

VIPシティホール 加茂  
加茂市千刈2丁目309-1  
☎0256-53-4999

【有料広告】

# NEWS TOPICS

## 一般国道403号三条北道路開通(3/23)

23日(土)に一般国道403号三条北道路が開通しました。新たに開通したのは三条下保内から塚野目を結ぶ3.18キロの区間で、これにより周辺道路の渋滞緩和や3月に開院した県央基幹病院へのアクセス向上が期待されます。

開通を記念して、同日午前10時から開通式が行われ、その後開通区間へ移動しテープカットと通り初めを行いました。



## 加茂市と株式会社エヌ・シー・ティ 災害時の緊急情報発信等に関する協定締結式(3/25)



25日(月)に加茂市と株式会社エヌ・シー・ティ様は「災害時の緊急情報発信等に関する協定」を結びました。

現在、加茂市が保有する情報伝達手段のほか、本地域に密着したケーブルテレビでの緊急放送やインターネット等での配信を通じて、迅速に災害情報および防災情報を周知することにより、被害の軽減と市民の安全確保に努めます。

## 地域おこし協力隊退任のごあいさつ (久保政貴さん)

令和4年10月に加茂市地域おこし協力隊として着任し、社会福祉協議会で高齢者サロン(集いの場)の活性化などに取り組んで来ましたが、この度、令和6年3月末で退任させて頂くことになりました。

メーカー営業職から福祉の現場への転職という面で戸惑う事もありましたが、いつも元気なサロンの来所者さんや運営者さんにお会いする事を楽しみにしながら活動する事が出来ました。

印象的な出来事は、サロンの無かった須田地区で新規立ち上げのお手伝いをさせて頂き、そこで皆さんと生クリームを泡立ててクリスマスケーキ作りをした事が挙げられます。「ケーキ作りは初めて」という方の美味しそうな笑顔が印象的でした。

今後は協力隊の経験を活かし、まちづくりに関わっていきたいと思います。短い期間でしたが、加茂の皆さんの事を忘れる事はありません。ありがとうございました。



久保政貴さん

問い合わせ 政策推進課 (☎内線354)

## 親子運動教室 参加者募集

生涯スポーツの基礎が作られる  
幼児期に広い開放感のある空間で  
運動してみませんか。

みんなと一緒に体を動かすので  
協調性や社会性を身に付ける機会  
にもなります。

**対象** 市内在住・在園（保育園・幼稚園）の年長児・年中児とその保護者

**開催日** 5月13日、27日、6月24日、7月8日、22日、8月26日、9月9日、23日、10月14日、20日、11月11日、25日、12月9日、23日、1月12日、27日、2月10日、24日、3月10日、24日の全20回（10月20日と1月12日以外は月曜日に実施）

**時間** 午後7時～8時

**会場** 勤労者体育センター

※10月20日（日）は加茂山、1月12日（日）は冬鳥越スキーガーデンで行います。

**内容** SAQトレーニング、軽運動、レクリエーションなど

**参加費** 親子1組2千500円

## 伝統文化こども教室

次代を担うこどもたちが伝統文化を体験し、修得できるよう開催します。受講料は無料です。

### ■加茂松坂こども教室

「加茂松坂」の唄、囃子、笛、太鼓、三味線、踊りを習得します。習熟者は「加茂小唄」の笛、太鼓、三味線も指導します。

**期間** 3月まで **曜日** 第2、4土曜日：午後6時30分～8時

**会場** 中央コミュニティセンター

**対象者** 小・中・高校生

**定員** 20名程度 **講師** 加茂松坂保存会

### ■加茂邦楽こども教室

伝統的な楽器、箏、三味線（地歌三絃）の演奏を体験。わらべ唄、日本の名曲、童謡、アニメソングなど親しみのある曲を学びます。

**期間** 3月までの月2回程度（年間30回）

**曜日** 水曜日：午後6時30分～8時30分または、日曜日の午後から夕方

**会場** 加茂文化会館 **対象者** 小・中・高校生

**定員** 20名程度 **講師** 新潟箏曲理音会 高橋理香さん

※箏の爪は貸し出し用があります。

### ■茶道こども教室

茶道の体験を通じて、茶道のおもしろさや礼儀、作法の大切さを学びます。

**期間** 3月までの月2回

**曜日** 土曜日：午後1時30分～3時

**会場** 公民館 和室 **対象者** 小・中・高校生

**定員** 15名程度 **講師** 加茂心茶会

**抹茶・菓子代** 小・中学生は月1,000円／高校生は月1,500円

**申し込み・問い合わせ** 社会教育課（☎内線461）



**講師** 勝俣将明さん（日本野鳥

室、加茂山公園

**日時** 5月18日

（土）午前8時～10時

**対象** 市内小学生、野鳥に興味のある人

**申し込み** 5月14日（火）までに

公民館（☎52-1953）へ。

## 自然ふれあい教室探鳥会

**定員** 15組（先着順）  
**申し込み** 5月8日（水）までに  
参加費を添えて勤労者体育センター内スポーツ振興係（☎53-2206）へ。

学会会員、中学校校長）  
**持ち物** 筆記用具、双眼鏡（持っている人）  
**参加料** 無料

# 文化会館ガイド

☎53-0842

## 【八神純子 Live キミの街へ ~ for all living things ~】

日時 6月9日(日) 開場15:30/開演16:00  
 会場 大ホール  
 料金 6,500円(全席指定・税込)  
 ※未就学児入場不可  
 チケット発売 好評発売中!

## 【大ホールひとりじめ!】

日時 5月12日(日)、23日(木)  
 ステージでスタインウェイもヤマハもどちらも弾くことができるよ! 1日8枠開催。  
 会場 大ホール  
 料金 1枠50分 1,000円(税込)  
 好評受付中!



## 大人の手話教室

障がいのある人もない人も、共に生きる社会であることを学び、ろうあ者とのコミュニケーション方法として手話を学びましょう。この教室は赤い羽根共同募金の配分金で実施されます。

日時 5月9日、23日、6月6日、20日、7月4日、18日(木)  
 午前9時30分~11時30分  
 会場 市役所別棟  
 参加費 無料

## 加茂生活学校 令和6年度会員募集

加茂生活学校は発足54年の消費者団体です。

開校以来、環境問題に取り組み、自らのライフスタイルを変えていく輪を広げる運動を推進してきました。一人一人の思いを大切

講師 大野良子、関美紀  
 申し込み・問い合わせ 4月30日(火)までに加茂市社会福祉協議会(☎52-6667)へ。

に、楽しく仲間づくりをしてみませんか。活動に関心のある方の入校をお待ちしております。

### 活動内容

- ▼時代に応じた問題を取り上げた実践活動(食の問題、高齢化社会の問題、子育て支援の問題等の実態調査や学習会、視察など)
- ▼生活に密着した活動(廃油石けん作り、レジ袋削減の推進、食品ロス削減への取り組みなど)
- ▼他団体との交流、施設見学
- 対象 家庭で消費活動の中心になつている人(男性も歓迎)
- 期間 6月~令和7年5月(毎月1回の学習会を予定)
- 会費 年額千円
- 会場 公民館、地域交流センター(中央コミセン)など
- 申し込み 5月24日(金)までに  
 商工観光課(☎内線132)へ。  
 ※締め切り後も随時受け付けます。



## チャイルドシート購入費用補助金・誕生祝金の申請受付終了

チャイルドシート購入費用補助金と誕生祝金の申請は令和6年4月15日をもって終了いたしました。

詳しくはホームページをご覧ください。

問い合わせ こども未来課(☎内線151)

## 温水プール無料開放

日時 5月5日(日・祝) 午前10時~午後6時

注意事項 ▼オムツの取れていないお子さんは入場不可。▼未就学児は保護者同伴。▼プール入場者は水泳帽を着用。▼ゴーグル、水泳帽の貸出し不可。▼プール室への飲食物、アクセサリ(ピアス、ネックレス等)、浮き輪、ビーチボール等の持込み不可。

問い合わせ 温水プール(☎53-5101)

**受けましよう がん検診**  
**子宮頸がん、乳がん、胃がん、大腸がん検診**

2月の受診申込書で申し込んだ人へ検診の案内を順次郵送します。なお、医療機関検診は医療機関へ予約してから検診に行ってください。いずれの検診も70歳以上は無料です。

■子宮頸がん、乳がん

【集団検診】隔年受診（昨年受診した人は不可）。

検診料（対象者）

▼子宮頸がん 千円（平成17年3月31日以前生まれの女性）

▼乳がん（マンモグラフィ）千円（昭和60年3月31日以前生まれ

の女性）

※心臓ペースメーカー装着者や豊胸手術実施者、妊娠中、妊娠している可能性のある人、授乳中の人のご遠慮ください。

【医療機関検診】隔年受診（昨年度受診した人は不可）。

▼子宮頸がん 千800円（平成17年3月31日以前生まれの女性）

医療機関／検診期間

①県立加茂病院／6～7月 火・水・木・金曜日（午後のみ）

※申し込んだ人へ個別にご案内します。

②済生会三条病院／6～10月 水曜日の午前のみ

※検診のお知らせが届いてから、希望する医療機関へ予約してください。検診1日当たりの定員は10人（先着順）。

▼乳がん（マンモグラフィ）千400円（昭和60年3月31日以前生まれの女性）

医療機関／検診期間

済生会三条病院／6～10月 祝日を除く月～金曜日

※健康福祉課へ申し込んでから済生会三条病院へ予約してください。検診1日当たり定員は2人。

■胃がん、大腸がん検診

対象者 胃がん、大腸がん検診ともに40歳以上（昭和60年3月31日以前生まれ）

子宮頸がん、乳がん集団検診日程

実施日	会場
5/21 (火)	下条体育センター
5/22 (水)	
5/23 (木)	ゆきつばき荘
5/24 (金)	
6/3 (月)	加茂市産業センター
6/4 (火)	
6/5 (水)	勤労者体育センター
6/6 (木)	

受付時間 午前9時～11時、午後1時～3時

胃がん、大腸がん検診

実施日	会場
5/27 (月)	下条体育センター
5/28 (火)	
5/29 (水)	勤労者体育センター
5/30 (木)	
5/31 (金)	
8/20 (火)	加茂市産業センター
8/21 (水)	
8/22 (木)	
8/23 (金)	
9/3 (火)	市民体育館
9/4 (水)	
9/5 (木)	
9/6 (金)	

受付時間 午前7時30分～9時30分

検診料

▼胃がん検診 千円

▼大腸がん検診 500円

問い合わせ 健康福祉課健康づくり係（☎内線162）

令和6年度高齢者の肺炎球菌定期予防接種

対象者 満65歳の方（満60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器及び免疫機能に障がいがある方（身体障害者手帳1級相当の方）も希望があれば接種できます。）

接種期間 65歳から66歳のお誕生日前日まで

接種費用 4千700円

令和6年度65歳になる方にはお誕生日の前月にご案内します。

満65歳で1度も接種したことがない方は定期接種として受けることができます。

問い合わせ 健康福祉課健康づくり係（☎内線162）

## 5月から広報かもの発行回数を月1回に変更します

広報かもは、原則、これまで1日号（お知らせ版）と15日号の毎月2回発行していましたが、令和6年5月からは、毎月1回、15日（休日の場合は翌開庁日）の発行に変更します。またそれに伴い、配布物の配布も月1回に変更します。

今後はより一層、「かも防災・行政ナビ」アプリやLINEをはじめとする市公式SNS、ホームページなどを活用して、緊急性・即時性が高い情報を発信するなど、各媒体の特長を生かし、組み合わせて情報発信の充実につなげていきます。ぜひこの機会に「かも防災・行政ナビ」アプリや市公式SNSなどをご登録ください。

問い合わせ 総務課秘書広報係  
(☎内線330)



かも防災・行政ナビ

## 家庭で不要なパソコン 無料回収

市では国の認定事業者である「リネットジャパンリサイクル（株）」と協定を締結し、家庭で不用となったパソコンの宅配便による無料回収をしています。インターネットで簡単にお申し込みいただけます。



ホームページ

- ① リネットジャパンリサイクル回収手順
  - ② 不要なパソコンを段ボールに詰める。
  - ③ 宅配業者がご希望の日時に回収。
- ※データはご自身で消去してください。（消去ソフトを無料で提供します。）
- ※パソコンと一緒に、他の小型家電、周辺機器も回収可能。
- 詳細はホームページまたはお問合せ専用窓口へご相談ください。
- ホームページから申込みが出来ない方は、電話専用窓口（リネットジャパンリサイクル（株）☎05

## 第67回粟ヶ岳山開き

登山参加者には記念バッジが、神事に参加した方には加茂山岳会より記念品が贈られます。なお、JR 加茂駅からのシャトルバスの運行はありませんのでご注意ください。

日時 4月29日（月・祝）

※神事は午前7時30分頃から中央登山道登り口付近で実施

問い合わせ 商工観光課観光係（☎内線131）、加茂山岳会事務局（☎52-8760）

加茂山岳会  
会員募集中！  
詳しくは加茂  
山岳会事務局へ

70-085-800、午前10時～午後5時へご相談ください。  
問い合わせ 環境課生活環境係（☎内線251）

## 農業の未来を考える座談会 地域計画策定に係る協議の場

農業従事者の高齢化や担い手不足が心配される中、10年後に誰がどのように農地を使って農業を進めていくのか、各地区で農業関係者が集まり、みんなで考える座談会です。今回は加茂地区と七谷地区のご案内です。

該当地区で耕作している農業者、耕作したい農業者が対象です。複数の地区で耕作している場合は、複数の座談会にご出席ください。

地区	期日	時間	会場	内容
加茂	6月5日（水）	午後7時～8時30分	産業センターホール	地域計画策定に係る協議（第3回）
七谷	6月12日（水）	午後7時～8時30分	美人の湯大広間	

問い合わせ 農林課農政係（☎内線412）



## 地域の将来像とまちづくりをイメージしよう！

### 第2回都市計画マスタープラン地域別懇談会



ホームページ



申込フォーム

市では、令和5年度から将来の都市像やまちづくりの方針を示す計画である「加茂市都市計画マスタープラン」の策定を進めています。

昨年11月に各地域で第1回を開催し、参加者の方から加茂市全体と地域の課題や解決方法についてご意見や思いをお聞きしました。第2回では自分の住む地域をどのようにしていくか、より具体的に話し合います。初めての方も大歓迎です。

ワークショップ形式で行います。

■募集人数 各地域15人

■応募条件 市内在住の16歳以上（原則、居住する地域（小学校区）に限ります）

■申し込み 5月15日（水）までに、申込用紙を郵送またはメールにて提出、もしくは申込フォームから申し込んでください。

	地域（小学校区）	日時	場所
①	西加茂地域 （石川小学校区）	5/24（金） 18:30～21:00	加茂市役所 3階301会議室
②	下条地域 （下条小学校区）	5/25（土） 10:00～12:30	下条コミュニティ センター
③	七谷地域 （七谷小学校区）	5/25（土） 14:30～17:00	七谷コミュニティ センター
④	須田地域 （須田小学校区）	6/1（土） 10:00～12:30	須田コミュニティ センター
⑤	加茂地域（加茂小 学校区・加茂南小 学校区）	6/1（土） 14:30～17:00	地域交流センター

申込用紙は加茂市ホームページからダウンロードできるほか、建設課窓口にあります。

問い合わせ 建設課都市計画係（☎内線214、215）

## 林野火災を防ぎましょう

例年、林野火災の多くが春に発生しています。

強風時や乾燥時には、『たき火をしない』、『火気を使用する場合はその場を離れず、使用後は完全に消火する』、『たばこの投げ捨てをしない』など、林野火災を起こすことのないよう十分に気をつけましょう。



## 定額減税制度説明会

問い合わせ 加茂地域消防本部予防課（☎52-1770）

日時 4月23日（火）、26日（金）、5月24日（金）、28日（火）、29日（水）  
①午前10時②午後1時30分  
会場 三条東公民館 ホール2  
対象 源泉徴収義務者（給与支払者）  
申し込み 三条税務署法人一部門（☎32-7855）  
持ち物 3月中旬に国税庁から送

### ☒ 休日当番医 9:00～17:00

月日	休日当番医	☎
4/29（月・祝）	さくらクリニック	52-9511
5/3（金・祝）	堀内医院	52-0953
4（土・祝）	みながわ整形外科	53-3877
5（日・祝）	徳友医院	53-0167
6（月・振休）	須田医院	41-5025
12（日）	星野内科医院	41-4141
19（日）	小池内科消化器科クリニック	53-3355

付したパンフレット  
その他 各回定員50名のため、事前にお電話でお申し込みください。

# 「お試し」のつもりが**定期購入**に！

## 「お得にお試し」だけに注意

### 事例1

「**初回550円**」という表示を見て化粧品を注文したところ、**2回目以降**が**定期購入**契約だった。



### 事例2

「いつでも**解約可能**」という表示を見て、定期購入のサプリを注文したら、初回のみで**解約**するには**条件**がついていた。



### ひとつこと助言



- 低価格を強調する広告の場合は、注文する前に販売サイトや「**最終確認画面**」の表示をよく確認しましょう。
- 2回目から**分量が多くなったり**、**高額になったり**する場合があります。販売条件を確認しましょう。

### 【困ったときの相談窓口】

消費者ホットライン



**188**(イヤヤ)

※最寄りの消費生活センターなどの相談窓口につながります

～または下記相談窓口まで～

加茂市商工観光課消費生活相談窓口 ☎0256-52-0134 (相談専用)  
 新潟県消費生活センター ☎025-285-4196 (相談専用)

## 加茂養生訓 1 - 老いに至りて楽しみを増す -

(平均寿命と健康寿命)



加茂病院 富所 隆

始めまして。

小生は、医師になって46年目の老内科医師です。

この春から、加茂で働くにあたり、何か役に立てることは無いかと考え、思いついたのが、この紙面をお借りして、加茂で暮らす方々の健康維持に有用な情報を発信することでした。皆様が健やかに暮らすことに少しでもお役に立てれば幸いです。

今回は初回として、日本人の平均寿命と健康寿命についてお話しします。

戦後日本人の平均寿命は飛躍的にのび、男女とも約20歳以上長くなりました。現在の平均寿命は男性が81.64歳、女性が87.74歳で、世界でもトップクラスを維持しています。その背景には、1. 医療技術の進歩、2. 乳児死亡率の減少、3. 生活環境の改善が挙げられます。人生百年時代と言われますが、今年は百歳を超える人が日本全体で10万人を超えると予想されます。

さて、寿命が延びること自体、とても喜ばしいことですが、どんな状態で百歳を迎えるのかがとても気になる所です。その基準が健康寿命です。健康寿命とは、『健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間』と定義され、平均寿命と健康寿命の差が『健康ではない期間』を意味しており、誰かの助けを借りながら生活する期間でもあります。2019年のデータでは、男性が72.9歳、女性が75.4歳で、平均寿命との差が、男性は8.7年、女性が12.1年でした。ずいぶん長い間私たちは『健康ではない期間』を過ごしていることが分かります。

ご存知のように現在日本は少子高齢化・人口減少化社会の真ただ中にいます。働き手が減少していく中で、今後もまだ増加する高齢者こそがこれからの日本を支える原動力になると考えています。それには高齢者が元気に活躍できる社会を作ることにより他なりません。健康寿命を延ばすことが、その実現への一歩だと思います。

健康寿命の延伸には、①食事、②運動、③コミュニケーションの3つがポイントです。次回はそれについてお話いたします。

問い合わせ 県立加茂病院総務課 (☎52-0701)

加茂市へ  
▼今井洋輔様から  
木製立体パズル

30個



教育総務費寄附金  
▼石山資雄・石山千恵様から

60万円



能登半島地震義援金  
▼本量寺寒行会様から

16万5千204円

社会福祉費寄附金  
▼本量寺寒行会様から

5万円

ありがとう

# 暮らしのカレンダー

4月・5月

4月 <b>22</b> (月) 仏滅	・休館日(公民館・市民体育館、市立図書館、民俗資料館、中央コミセン除く各コミセン、かも川荘、ゆきつばき荘)	<b>2</b> (水) 友引	・一般映画観賞会「モリのいる場所」市立図書館 14:00から ・休館日(BBC、中央コミセン)	<b>10</b> (金) 赤口	・シルバー人材センター入会説明会 ゆきつばき荘 9:30~11:30 ・休館日(公民館・市民体育館、上条コミセン、ゆきつばき荘、かも川荘)
<b>23</b> (火) 大安	・休館日(市立図書館、民俗資料館、中央コミセン除く各コミセン、温水プール、かも川荘、ゆきつばき荘)	<b>3</b> (金) 先負	※ <b>憲法記念日</b> ・学童野球大会 川西野球場 9:00から ☒ <b>休日当番医 堀内医院</b> (☎52-0953) 9:00~17:00 ・休館日(公民館・市民体育館、上条コミセン、ゆきつばき荘、かも川荘、市立図書館)	<b>11</b> (土) 先勝	・司法書士無料法律相談(県司法書士会三条支部加藤さん、前日までに☎47-1882へ要予約) 市役所相談室1 9:00~12:00 ・子ども読書会 市立図書館 14:00から ・休館日(北コミセン)
<b>24</b> (水) 赤口	・行政相談 市役所相談室1 9:00~11:30 ・心配ごと相談 市役所別棟相談室 9:00~15:00 ・定期露店市場 ・休館日(美人の湯、BBC、メリア3階)	<b>4</b> (土) 仏滅	※ <b>みどりの日</b> ・定期露店市場 ・休館日(北コミセン、市立図書館) ☒ <b>休日当番医 みながわ整形外科</b> (☎53-3877) 9:00~17:00	<b>12</b> (日) 友引	☒ <b>休日当番医 星野内科医院</b> (☎41-4141) 9:00~17:00
<b>25</b> (木) 先勝	・読もう、語ろうイギリス文学 市立図書館 10:00から ・休館日(BBC、中央コミセン)	<b>5</b> (日) 大安	※ <b>こどもの日</b> ・温水プール無料開放 ・休館日(市立図書館) ☒ <b>休日当番医 徳友医院</b> (☎53-0167) 9:00~17:00	<b>13</b> (月) 先負	・親子運動教室 勤労者体育センター 19:00~20:00 ・休館日(公民館・市民体育館、市立図書館、民俗資料館、中央コミセン除く各コミセン、かも川荘、ゆきつばき荘)
<b>26</b> (金) 友引	・古典文学の集い・万葉集 市立図書館 10:00から ・休館日(公民館、市民体育館、上条コミセン、ゆきつばき荘、かも川荘)	<b>6</b> (月) 赤口	<b>振替休日</b> ・休館日(市立図書館、中央コミセン除く各コミセン、かも川荘、ゆきつばき荘) ☒ <b>休日当番医 須田医院</b> (☎41-5025) 9:00~17:00	<b>14</b> (火) 仏滅	・休館日(市立図書館、民俗資料館、中央コミセン除く各コミセン、温水プール、かも川荘、ゆきつばき荘) ・定期露店市場
<b>27</b> (土) 先負	・休館日(北コミセン)	<b>7</b> (火) 先勝	・補聴器相談 市役所相談室4 11:00~12:00 ・休館日(市立図書館、民俗資料館、中央コミセン除く各コミセン、温水プール、かも川荘、ゆきつばき荘)	<b>15</b> (水) 大安	・心配ごと相談 市役所別棟相談室 9:00~15:00 ・オレンジカフェ 機能訓練センター 9:30~11:00 ・シニア教室 公民館 10:00~11:30 ・休館日(BBC)
<b>28</b> (日) 仏滅	☒ <b>休日当番医 いからし小児科アレルギークリニック</b> (☎53-2250) 9:00~17:00	<b>8</b> (水) 仏滅	・行政相談 市役所相談室1 9:00~11:30 ・心配ごと相談 市役所別棟相談室 9:00~15:00 ・おはなしトレインのおはなし会 市立図書館 10:30~11:30 ・休館日(美人の湯、BBC、メリア3階、民俗資料館、上条コミセン、ゆきつばき荘、かも川荘)	<b>16</b> (木) 赤口	・法律相談 市役所別棟相談室 13:00~16:00 ・こころと身体健康相談 市役所相談室 13:00~16:00 ・休館日(BBC、中央コミセン)
<b>29</b> (月) 大安	※ <b>昭和の日</b> ・第67回粟ヶ岳山開き 7:30から ・学童野球大会 川西野球場 8:30から ・休館日(市立図書館、中央コミセン除く各コミセン、かも川荘、ゆきつばき荘) ・定期露店市場 ☒ <b>休日当番医 さくらクリニック</b> (☎52-9511) 9:00~17:00	<b>9</b> (木) 大安	・農地相談 農業委員会事務局 9:00から ・大人の手話教室 市役所別棟相談室 9:30~11:30 ・読もう、語ろうイギリス文学 市立図書館 10:00から ・女性のための総合相談(事前に男女共同参画係☎内線323へ要予約) 市役所3階図書室 13:00~16:00 ・けんこう栄養相談会(前日までに健康福祉課健康づくり係☎内線166へ要予約) 公民館 13:30~16:30 ・休館日(BBC、中央コミセン) ・定期露店市場	<b>17</b> (金) 先勝	・休館日(公民館・市民体育館、上条コミセン、ゆきつばき荘、かも川荘)
<b>30</b> (火) 赤口	・休館日(公民館・市民体育館、市立図書館、民俗資料館、中央コミセン除く各コミセン、温水プール、かも川荘、ゆきつばき荘)			<b>18</b> (土) 友引	・自然ふれあい教室探鳥会 公民館 8:00~10:00 ・ワクワクドキドキお話の部屋 市立図書館 10:00から ・休館日(北コミセン)
5月 <b>1</b> (水) 先勝	・休館日(BBC、民俗資料館)			<b>19</b> (日) 先負	・定期露店市場 ☒ <b>休日当番医 小池内科消化器科クリニック</b> (☎53-3355) 9:00~17:00

保健・衛生事業の日程は、健康カレンダーをご覧ください。

市民憲章 第5条(希望・展望・情緒)

みんなで考え 力をあわせ のびゆくまちを築きます

### 加茂市防災・市民情報配信サービス

防災・各種イベント  
・日常生活のお役立ち情報などのお知らせがあなたのスマホに届きます！



### NST 新潟総合テレビ 『スマイルスタジアム』 公開収録！



“園芸王子”でお馴染みの三上真史さんが撮影に来ます。ご家族、ご友人など皆さんお誘いあわせのうえぜひお越しください！

日程 6月1日(土)  
時間 11:00～(予定)  
場所 冬鳥越スキーガーデン  
※10:00～15:00にはモハの汽笛を鳴らせる他、市内飲食店が集まるイベントを開催します。詳細は広報かも5月号でお知らせします。

問い合わせ 環境課 (☎内線 251、252)



**物価高騰の影響で各紙値上げを実施 読売新聞は値上げせず**

**価格据え置き 朝刊 3,400円** (税込み) 月ごめ

読売新聞はオンラインも充実！  
月々の購読料+0円で全部楽しめます！！

7日間(最大14日間まで)無料でお試し読みもできます。  
お申し込みは下記までお電話いただくか右の二次元コードから

**読売センター-加茂 ☎0256-47-4313**  
〒959-1371 加茂市青海町2-11-11

【有料広告】

# ここに 広告掲載 できます！

全戸配布の広報紙なので、市域全体へ周知できます。  
料金表や申込などの詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。

☎ 総務課秘書広報係 (☎内線 330)

ホームページ

※掲載されている会社名は各社の商標または登録商標です。  
★キャンペーン詳細は「おうち観光セット適用条件書」をご確認ください。

**NCT とセットなら スマホ利用料もおトクになります！**

※スマホ利用料割引の適用には、インターネット・電話などの契約が必要となります。他にも、各種条件がございます。

インターネット・ケーブルテレビ・電話  
**エヌ・シー・ティ 0120-080-009** 電話受付時間 **9:30～17:30** (ドコモ光タイプCに関しては10:00～19:00)  
※上記時間以外・土日祝・お盆期間・年末年始は時間外受付に転送されます。

【有料広告】



人口のうごき 4月1日現在 世帯 10,098 (-2) 人口 24,391 (-93)  
男 11,901 (-47) 女 12,490 (-46) ( )内は前月比  
(3月異動分) 出生12(男7女5) 死亡43(男23女20) 転出131 転入69

